

キャラクター名
 隠田 昌 (ワダ アキ)

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス		ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	ひ長寿おじいちゃん
	ハヌマーン					
オプション			年齢	100歳	性別	男
覚醒	償い	衝動	憎悪	初期侵食率	46 %	
出自	名家の生まれ	経験	永劫の別れ	邂逅	隠田 さくら	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	2	1	0			3	行動値	7
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	7
精神	3	0	0			3	戦闘移動	12
社会	1	0	0			1	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	5		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	4	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
両手剣	白兵	3r+2	3	10		この武器を装備している間は他の武器を使用できない

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ:要人への貸し	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
神速の担い手-スピードスター	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
極限暴走	1	—	常時	至近	自身	自動	リミット	
効果: HPダメージを与えた際に使用できるエフェクトを暴走を受けた際にも使用できるようになる。								
螺旋の悪魔	1	3	セットアップ	至近	自身	自動		
効果: 暴走を受ける。ラウンド間、ウロボロスのエフェクト組み合わせた攻撃の攻撃力+LV*3								
原初の紫:背徳の理	3	3+1	オート	至近	自身	自動		
効果: 与ダメージ時使用。シーン間、ウロボロスのエフェクトを組み合わせた判定のダイス+LV*2								
原初の青:形状変化:速	4	3+1	マイナー	至近	自身	自動		
効果: シーン間、行動値+LV*3								
原初の赤:一閃	1	2+1	メジャー	武器	—	白兵		
効果: 全力移動を行った後、白兵攻撃を行う。								
コンセ:ウロボロス	2	2	シンドローム	—	—	—		
効果: いつもの								
原初の黄:戦いの予感	2	2	セットアップ	至近	自身	自動		
効果: 初ラウンド時のみ発動可。行動値+LV*10 1シナリオ1回。								
原初の白:喰らわれし贄	1	1+2	オート	至近	自身	自動	80↑	
効果: 与ダメージ時使用。シーン間、ウロボロスのエフェクト組み合わせた攻撃の攻撃力を+LV*3。1シーン1回。								
永劫進化	1	3	セットアップ	至近	自身	自動	100↑	
効果: ラウンド間、原初エフェクトを全てLV+1。1シナリオ1回。								
スピードスター	1	5	セットアップ	至近	自身	自動		
効果: 1シーン1回。ラウンド間、攻撃力に行動値分+する。リアクションが行えなくなる。								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								

100↑初ラウンド時
 行動値:7+40+18=65
 攻撃力:7+40+18+9+6+10=90

かつては士族を名乗っていた名家の生まれ。空襲によって屋敷は燃え落ち、郎党は死ぬか行方しれずとなった。戦地から戻った彼を出迎える者はなく、当てのない旅に出ることにした。とある田舎の村落で行き倒れた彼は、世話を焼いてくれた娘と夫婦になると、その村で生涯を静かに暮らそうと決めた。妻は子を産めなかったが、それでも幸せな日々だった。しかし、その幸福はたった一晩の内に打ち砕かれることになる。

化け物が出た。血を嗜む化け物だ。化け物はまず、鋭い爪で私を斬り裂いた。次に尖った牙で、私の背にいた妻へ噛みついた。悲鳴が聞こえる。それが彼女と自分、どちらの喉から発されているのかわからなかった。ただ、手を伸ばそうにも肘から先は無く、近寄ろうにも腰から下が微動だにしない。冷たい水の中に沈んでいくような感覚が全身を覆っていく。やがて目が見えなくなった。そして、悲鳴も聞こえなくなった。